



檜小だより

檜原学園檜原小学校



2月号

令和5年度

2月1日(木)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

振り返ることの大切さ

主幹教諭 工藤 由里子

立春を2月4日に控え、いよいよ暦の上では春が訪れようとしています。校庭の木々の冬芽も暖くなる日を待ち遠しく感じているようです。

今年度も登校日が残り35日となりました。学校では、今年度の教育活動を振り返り、新年度に向けて教育課程を作成しているところです。今回は、この「振り返る」ことの大切さについて、私の経験を通してお伝えしたいと思います。

私は小学校1年生から体操教室に通い、平均台・段違い平行棒・床運動・跳馬の4種目を行う器械体操を習っていました。中学校も体操部がある中学校へ進学し、器械体操を続けていました。春から秋にかけては様々な大会があり、会場まで両親が応援に来てくれました。そのたびに、父親は必ず私の演技をビデオカメラで撮ってくれていました。しかし私は、演技が終わって結果が出ると、その良し悪しに関わらず、自分の中で区切りをつけ、終わりにしてしまっていたのかもしれない。父親が撮ってくれた自分の演技の映像を積極的に見て、振り返ろうとはしませんでした。結局、全国大会に出場するまでに、先生に育てていただいたにもかかわらず、中学3年生で体操をやめてしまいました。あのとき、自分の演技を振り返り、ビデオを見ながら自分の課題に気付き、次への意欲につなげることができていたら、その後の道が変わっていたかもしれないと思うことがあります。

学校では、檜原小・中学校で一貫して「R80（アールエイティー）」という言葉キーワードに、「振り返り」を重視した授業に取り組んでいます。Rは「リフレクション（振り返り）」と「リストラクチャー（再構築）」のRです。80は、80字以内の文章で学んだことをまとめて書くという意味の80です。これによって、思考力・表現力・論理力が身に付き、さらには書く力の育成にもつながるよう、『振り返りの視点』を示しながら取り組んでいます。そして、各学年で少しずつ、その成果が表れ始めていることを感じます。

先日、私の担任している5年生で学級会の話し合いがありました。議題は「新1年生との交流会の内容を決めよう」でした。新1年生との交流会は、今回が2回目で、1回目のときには計画通りにはできたものの、説明の仕方や言葉遣い等の課題が、「振り返り」で明らかになりました。そして今回の話し合いでは、前回の課題を解決しようとする意見や、さらに新1年生が安心して学校に来ることができるように考えた意見が次々と出されました。1回目の交流会の後に、しっかりと「振り返り」を行ったことによって、2回目は、さらに良い交流会となりました。

このように、授業や活動を「振り返る」ことによって、思考力・表現力・論理力が身に付くだけでなく、それをまとめるという書く力の育成にもつながっていきます。また、自分の良さや課題にも気付くことができ、さらには次の授業や活動への意欲にもつながっていきます。

今後も子供たちが、振り返ることの良さを実感することができるような指導をしていきたいと思います。また、ご家庭でも『振り返りの視点』を参考に、子供たちに振り返る機会を作っていただくことで、さらに力を伸ばしていけると思っています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

【振り返りの視点】

<p>①分かったこと・できたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ～が分かった。～を知ることができた。 ～と納得できた。 	<p>④学びのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ～に使える。～前の学習と比べて～ ～この学習は〇〇に生かせる。 ～につながっている。
<p>②自分の変化・成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ～さんの意見を聞いて、考えが変わった。 ～が分かるようになった。 ～する力が付いた。 	<p>*がんばったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ～ががんばった。 ～ができるように工夫した。
<p>③新たな疑問</p> <ul style="list-style-type: none"> ～〇〇な場合はどうなるんだろう。 ～〇〇のときも使えるかな。 	

2月の生活目標

寒さに負けず元気に過ごそう

寒い日が続いています。子供たちは縄跳びをしたり、大谷選手から頂いたグローブを使ったりして元気に外で遊んでいます。外から戻った後の手洗い・うがいも指導していきますので、ハンカチを持ってくるようご家庭での声かけをよろしくお願いたします。また、移動ポケットとしての斜め掛けポシェットですが、休み時間後の置き忘れが時々あります。しかし、つけたままで遊ぶのは事故の危険もあり、安全な学校生活を送るために、学校では使用しないようにしたいと思います。ご不便をおかけしますが、ご協力よろしくお願いたします。

生活指導担当



飼育委員会【チャボの飼育】

4年生は、年間を通してチャボを飼育しています。今までの4年生が代々育て、チャボの命や飼育の方法などを引き継いできました。「チャボの命を守るためには？」や「チャボのために自分たちができることは？」など、【生き物の命】を大切にするために様々なことを考え、主体的に活動しています。

今年は、知っている情報を整理し、周りの人に向けて発表したり、小屋のペンキ塗りをしたりしました。



4年生の児童は皆、チャボが大好きです。これから身の回りの【生き物の命】を大切にしていきたいと思えます。
飼育委員会担当

連合図工（西多摩）展

1月27日（土）・28日（日）の両日で、イオンモール日の出のイオンホールにて、連合図工（西多摩）展が開催されました。檜原小は、全校児童の作品が展示され、一人一人の思いや願いを感じることができました。自分たちが作った作品、他の学校の児童が作った作品を見ることで様々な感受性が育まれます。

自分たちの良さ、色々な感じ方があることの面白さが分かる良い機会となりました。



連合図工展担当

少人数教室から

檜原小学校では、3年生から2つのクラスに分かれて少人数で算数の授業を行っています。

算数は、理解するのにかかる時間の差が個々で大きく見られやすい教科の一つです。

「問題の解き方を友達とたくさん伝え合って、もっと得意になりたい」「難しい問題にどんどんチャレンジしていきたい」と言う子がいれば、「算数は難しいから、簡単な問題からコツコツやっていきたい」「先生に聞きながら、苦手なところを頑張りたい」と言う子もいて、様々です。そんな、子供の実態に合わせた指導をしっかりと行えるように、少人数指導の態勢を整えて実施してきました。

少人数教室での様子なども、是非ご家庭で話題にしてみてください。

少人数教室担当

つるかご作り

ふるさと檜原学習で、つるかご作りをしました。山からとってきていただいた「かなとづる」を使い、講師の方に教えていただきながら、一人一つづつかごを編みました。つるが緩まないように、力を入れて編んでいきます。いいつるは結構かたくて、最初は苦勞していた子供たちですが、コツをつかむと、みんな黙々と作業を行い、まさに職人さんのようでした。同じつるを使っても、こんなにも違うものができるのかと驚くほど、それぞれのアイデアが詰まった、個性豊かな素晴らしいかがごができあがりました。



一生ものつるかごです。大切に使います！

3年担任

紙すき体験

4年生は1月23日、あきる野ふるさと工房に行ってきました。あきる野ふるさと工房は、東京都無形文化財である「軍道紙」の保存・伝承をしており、今回、子供たちは、軍道紙の紙すき体験を行いました。

子供たちは、紙すき体験を通して、「紙を作るのは、こんなに大変なんだ。」「職人さんの技術はすごい！」など、多くのことを学ぶことができました。

4年担任